



おうみはちまんエコ通信

1号

今回は前年度に引き続き、「白鳥川の景観をよくする会（景観隊）」の白鳥川の堤防の清掃作業について取材を行いました。

今回の活動には、明治安田生命さんもボランティアとして約30名の方が清掃活動に参加されました。5年ほど前から年に2～3回協働で清掃活動が行われており、景観隊の除草作業に合わせて、ポイ捨てされているゴミを手際よく回収されていました。

深い茂みを除草していくと、ポイ捨てや不法投棄されたゴミが次々と出てくるため、活動に参加される方が増えるのはとてもありがたく、またやりがいを感じられるそうです。



← 除草作業中



← 作業完了後



↑ ポイ捨てされているゴミ(左)回収後(右)

今回の活動できれいになった河川敷も2ヶ月後には草木が伸びてしまうため、ポイ捨てが増えて元の姿に戻ってしまいます。

定期的な除草は大事ですが、何よりも美化活動を通じて、ポイ捨てをする人の意識に少しずつでも変化を与えることができればと景観隊の方は仰っていました。

ゴミはゴミ箱に。一人ひとりができる簡単なことがまちの美化につながります。